

My Favorite Life Style



インテリアデザインに新潮流、トランジショナルという愉しみ。



引き出し部分は高級木材、シカモア、ローズウッドを使い幾何学模様を象嵌細工で装飾。この装飾は高級クラシック家具に用いられる技法で、模様が幾何学的なパターンで構成されているもの特にパーケトリ（Parquetry）と呼ぶ。持ち手の部分はステンレスを繊細に細工した特注品。

- ① ネットワークチェスト
サイズ W153×D42×H81cm
- ② フロアーランプ
サイズ W48×D43×H156cm
- ③ ドライプチェア
サイズ W74×D74×H90cm

大切な住まいを彩るインテリア。あれこれと思いを巡らせながら、好みのものを選んでいく。ずっと憧れだったクラシックな雰囲気に仕上げるのもいい。新居に入居する際なら、新たな気分でよりモダンなインテリアを選ぼのもいいだろ。

「トランジショナル」と同じく、インテリアのカテゴリーも細分化されているが、大きく分けるとしたらこの「クラシック」と「モダン」が代表となるだろう。ところが最近は両者の中間のティストが注目を集め始めているというのだから、人の好みは面白い。

クラシックとモダンの「折衷」から脱却
室内風景を変える
新ティストがトレンドに

「トランジショナル」という言葉を聞いたことがおありだろうか。伝統と現代性をともに採り入れたティストで、海外ではすでにトレンドになっているという。私たち日本人が好みやすいティストでもあるので、ぜひチェックしておきたい。

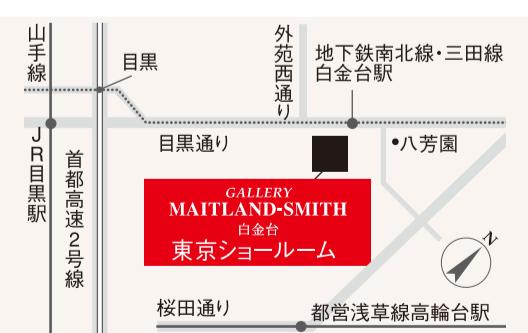
このカテゴリの代表的な製品が、米国セオドアアレキサンダー社から発表された「ユーロコレクション」「キーノ・ブランズ」だ。もともとクラシック家具の「ブランド」として評価を固めていた同社の繊細なモノづくりと、新進デザイナーたちの家具に対する審美眼が相まって、これまでの様式美を超える新しいスタイルへと昇華。クラシック・オブ・トウモローやすなわち「未来への遺産」となるようなら、新たな気分でよりモダンなインテリアを選ぼのもいいだろ。

セオドアアレキサンダー社から発表された「ユーロコレクション」「キーノ・ブランズ」だ。もともとクラシック家具の「ブランド」として評価を固めていた同社の繊細なモノづくりと、新進デザイナーたちの家具に対する審美眼が相まって、これまでの様式美を超える新しいスタイルへと昇華。クラシック・オブ・トウモローやすなわち「未来への遺産」となるようなら、新たな気分でよりモダンなインテリアを選ぼのもいいだろ。

これが、色のトーンや木目などの特徴を活かしつつ、よりラグジュアリーを極めた「コレクション」を実現する秘密だ。

その他にもセルフクロージングの引き出しなど、伝統を重視するクラシック家具ではあまり見かけないような製品を多数発表するキーノ・ブランズコレクション。東京都内では、欧米の名品を専門的に扱う西村貿易の自社ショールーム「ギャラリーメートランズミス白金台」で見ることができる。「度足を運んでみれば、「こんな家具を探していた」という出会いに恵まれることだろう。

家具づくりは、設計とデザインが決定してから素材を選ぶのが一般的なのだそうだ。しかしキーノ・ブランズコレクションは、最初に素材ありき。同社がデザイナーに素材を提供しそこから発想を広げのだという。そのため、モダンファニチャーでは使用しないようなローズウッドやマホガニーなどの高価な素材に新しい魅力が生まれるわけだ。



NISHIMURA & CO., LTD.

西村貿易 東京ショールーム 「ギャラリーメートランズミス白金台」

東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル1F TEL 03-5793-3694 営業時間／10:00～19:00 月曜休

www.maitland-smith.jp